

## 第一回リバーフロント部会議事録

日時 2013年5月14日 14:00～17:00

会場 岡崎市役所福祉会館3階視聴覚室

### 1 岡崎活性化本部長あいさつ

活性化本部は官民協働の戦略的パートナーシップを具現化した先進的組織。相互の信頼と寛容の精神によりステークホルダーへの貢献を期す。

### 2 リバーフロント部会長あいさつ

「リバーフロント」を幅広い視点から捉え、文化・歴史遺産の見直しを含め部会を運営する。岡崎の誇り、夢、希望、感動を伝えたい。

### 3 部会員紹介

### 4 市長、副市長あいさつ

水辺空間は財産であり、対外的には観光資源。二つの橋はヨーロッパの名のある橋に負けないものにしたい。例えば植栽と公園を擁する緑の橋、一方歴史と文化を伝える石の橋。岡崎城周辺を含め一体となった市民共通の心象風景となるようにしたい。河川に関して、近年国交省の考えが治水から親水に変わりつつある。乙川は中心市街地に近く、人が集まる。リバーフロント・ツインブリッジを市の活性化につなげたい。

### 5 「河川を活かしたまちづくり」についての事例紹介

アドバイザー（最上川、堀川、道頓堀川等各地の事例紹介。以下要約）

- ・多くは市民の意思、行動に端を発しており、幅広く意見を聞き反映した事例が多い。川辺の清掃など維持継続する上でも市民の参加は必要。
- ・川沿いは公衆トイレの設置が困難なことから、代わりに店舗・ビルがトイレ利用を無償で受け入れているケースがある。施設によってはテラスの利用も自由。
- ・（「リバーサイドウォーク」の例で）イベント等利用は住民主体で決める。規制を厳しくせず、まずやってみる。その反省に立って随時ルールを改善していく。
- ・川沿いの商業施設は通年で利益が出ると判断されないと出店されない。また1店舗が引くと連鎖反応を招く。継続的にお客を呼ぶ努力とそのサポートが必要。
- ・周辺建築物の景観整備を行う場合、民地の協力が不可欠。既存のものを活かし、一つの時代に固執しない。

### 6 閉会

#### ■次回部会開催日時・会場案内

2013年6月11日（火）13:30～15:30 岡崎市役所福祉会館202会議室

以上